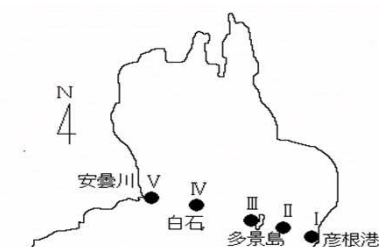


琵琶湖定点定期観測結果速報(令和6年9月)

数値は速報値であり、確定値ではありませんので、ご留意下さい。

調査年月日 令和6年9月11日

調査地点 彦根市～高島市安曇川町に至る5地点
(ただし、湖岸水温は彦根市八坂町
滋賀県水産試験場池先における測定値)



調査地点図

調査結果

平均値 … 5地点の平均値

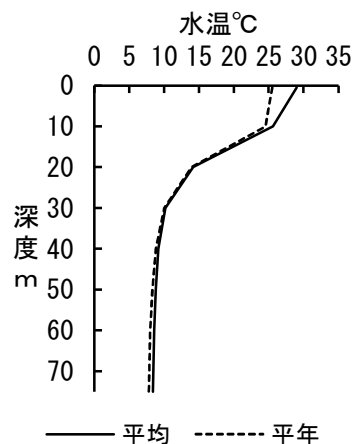
平年値 … 透明度、湖水温、湖岸水温、プランクトン沈殿量は1991年～2020年(平成3年～令和2年)の同時期調査の平均値

DO(溶存酸素濃度)は2014年～2023年(平成26年～令和5年)の同時期調査の平均値

1. 透明度 9月平均値 9.8m 平年値 5.7m

2. 湖水温 (°C)

深度 (m)	9月平均値	平年値	平年差
			(平均値-平年値)
0.5	29.0	25.5	+3.5
10	25.6	24.5	+1.1
20	14.2	13.9	+0.3
30	10.2	10.0	+0.2
40	9.2	8.8	+0.4
50	8.8	8.3	+0.5
60	8.6	8.0	+0.6
75	8.4	7.8	+0.6



3. 湖岸水温 (°C)

月(旬)	平均値	平年値	平年差
			(平均値-平年値)
8月下旬	29.4	27.5	+1.9
9月上旬	28.4	26.4	+2.0
9月中旬	29.7	25.2	+4.5

4. プランクトン沈殿量 (ml/m³)

水層 (m)	9月平均値	平年値	平年差
			(平均値-平年値)
0~10	9.7	11.3	-1.6
10~20	10.6	3.6	+7.0
20~40	2.1	1.0	+1.1
40~75	0.7	0.4	+0.3

(プランクトンネットNXX14使用)

5. 表層のプランクトン優占種

○プランクトンネットNXX14による採集(5%中性ホルマリン固定。植物プランクトンは地点Iと地点IV、動物プランクトンは全地点)

植物プランクトンについては、地点Iでは*Aulacoseira granulata*(タルケイソウ:珪藻)が、地点IVでは*Volvox* sp.(ボルボックスの一種:緑藻)が細胞数で最も多く認められた。

動物プランクトンについては、地点I、II、IVではカイアシ類のコペポデイド期幼生が、地点III、Vではカイアシ類のノープリウス期幼生が個体数で最も多く認められた。



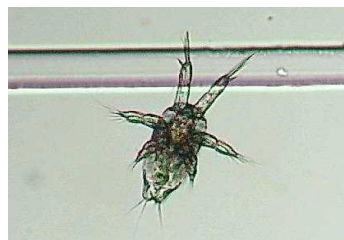
Aulacoseira granulata



ボルボックス
(画像は*Volvox aureus*)



コペポデイド期幼生



ノープリウス期幼生

6. DO (溶存酸素濃度: mg/L) 多項目水質計による測定値。

深度 (m)	9月平均値		平年値		平年差	
	DO	(酸素飽和度%)	DO	(酸素飽和度%)	DO	(酸素飽和度%)
0.5	8.1	104.8	8.1	99.6	0.0	(+5.2)
10	8.0	98.9	8.0	97.7	0.0	(+1.2)
20	7.0	68.1	7.0	68.2	0.0	(-0.1)
30	9.0	79.9	8.4	75.6	0.6	(+4.3)
75	2.9	24.4	4.4	39.3	-1.5	(-14.9)